

同学年屋根瓦方式のシミュレーション実習

屋根瓦方式とは、教えられた人が、次に教える側に回る。これを順繰りし、技能を伝える。
すなわち、完成された教員が、大勢の学生を教えるのではなく、
Everybody Teacher, Peer Teaching のひとつの形態であり、
昨日までの素人が、今日の体験を基に、明日には先生になる。

屋根瓦方式の利点

少ない教員数でも、大勢の学生の教育が可能。
他人に教える事は、自分が学ぶ事。単なる受身的学習より、理解が深まる。

屋根瓦方式は、普通、異学年の間で行われる・・・

アメリカの教育病院

attending physician→senior resident→junior resident→intern→med student

日本の工科系学部

教員→博士課程院生→修士課程院生→学部4年生→学部3年生

医学部6年の課程のカリキュラムに屋根瓦方式を導入・・・

医学部には、異学年が時間を共有するカリキュラムが無いに等しい。
かろうじて、**clinical year**（5，6年生）で可能。
（体育会系のクラブが、異学年屋根瓦方式を採用！）

今の日本のカリキュラムなら、同学年屋根瓦方式が現実的

同学年屋根瓦方式とは、同じ学年の先発組みが、後発組みを教える。
1週間に1コマのカリキュラムでも、実施可能。
すなわち、カリキュラムの改変の必要なし。

同学年屋根瓦方式のシミュレーション実習に必要な資源

学生がゆっくり入る十分広い部屋
複数のシミュレーション実習テーマやシミュレーター
シミュレーション実習のビデオ教材
複数の教員

同学年屋根瓦方式のシミュレーション実習の具体例

<p>施設：医学部医学科（定員100名）</p> <p>教科：4年生のICM（臨床前実習）</p> <p>カリキュラム：1週に2時間のコマを20週間。</p> <p>教員数：5～10名</p> <p>学習内容：学習テーマは10。 問診 静脈採血 血圧測定 眼底鏡 耳鏡 心音・呼吸音聴診 触診 神経反射 手洗い 皮膚縫合 導尿 直腸診 …… などを単独または複数の組み合わせで学習テーマとして実施する。</p> <p>用意するもの：それぞれに必要なシミュレーター それぞれの教材ビデオテレビモニター（10台）</p> <p>実施要綱：</p> <p>1週目 オリエンテーション グループ分け 5人1組で20グループ 先発組み10グループに教員が教える。 後発組み10グループは、1週目の学習なし。</p> <p>2週目 先発組みが後発組みを、教材ビデオを観ながら教える。 教員は、学生からの質問を受け付ける。</p> <p>3週目 先週の後発組みが今週は先発組みになり、第3グループを教える。 本質的には、2週目と同じ運営方法</p> <p>以後、毎週、繰り返す。</p>	<p style="text-align: center;">Variation</p> <p>50人に実習、5人に講義という形で、分散する。</p> <p>教養の科目</p> <p>半年なら15週</p> <p>教員数として、学生グループの数の半分以上の数が必要。</p> <p>学習テーマは4～12程度。</p> <p>学習テーマが4つなら8週 学習テーマが5つなら10週 学習テーマが6つなら12週 学習テーマが7つなら14週</p> <p>グループの人数は3～6名程度。それ以上多いと、当事者意識が希薄となる。</p> <p>途中の週で、説明講義</p> <p>最終週にテスト</p>
--	--

あなたが設計する同学年屋根瓦方式のシミュレーション実習

各グループには、専門が異なる参加者が混在しています。役割分担をして仕上げてください。

想定学生人数 適宜、仮決定してください。

教育資源（教員、シミュレーター）に制約があります。この兼ね合いを考えてください。

学年 適宜、仮決定してください。

科目（何を教える） 適宜、仮決定してください。

回数 適宜、仮決定してください。

教育資源（教員、シミュレーター）や学習テーマ数との兼ね合いに注意。

どのように教員を集めるのか？ある程度 実現可能なアイデアを・・・

この作業を通して、実現には、どの程度の教育資源が必要なのか、認識ください。

学習テーマと使用するシミュレーター（モデル）

学習テーマの項目をリスト・アップしてください。4～10程度。

サプライヤー会社の参加者は、使用者のニーズを把握し、どんなシミュレーターが市販されているのか、情報提供をしてください。

教材の作成

それぞれの学習テーマについて、教材を作成してください。

(1) 事前テスト（ペーパーテスト、参考例があります。ご覧ください。）

(2) 指導内容 ビデオ教材（今回は作りません。）

guiding question（参考例があります。ご覧ください。）

(3) 事後評価（ポートフォリオ、参考例があります。ご覧ください。）

時間の関係で、全部を作るのは、無理です。得意分野を選び、一人一作 程度で十分です。

病院の臨床医の参加者は、ここで作った教材を研修医教育に使ってください。

また、同学年屋根瓦方式は、6名以上の研修医がいる病院なら、小規模に実施できる方策です。

運営について

シミュレーター使用のマニュアルをお書きください。

スキルラボが巧く運営されるように、管理規則を制定ください。

同学年屋根瓦方式のシミュレーション実習 フォーマット

想定学生人数 () 学年 () 科目 () 回数 ()

学習テーマと使用するシミュレーター (モデル)

テーマ 1

テーマ 2

テーマ 3

テーマ 4

テーマ 5

テーマ 6

事前テスト (学習テーマ ○○)

書式自由

guiding question 学習テーマ (例) 血圧測定

項目 (例) 測定前の準備 について

学生に教えたい内容	教員が発すべき guiding question
患者が精神的にも、身体的にも、平静になるのを待って血圧を測定する。	高血圧の患者の診察です。いつ血圧を測りましょうか？患者が診察室に駆け込んで来た直後でもよろしいか？

事後評価 学習テーマ ○○

ポートフォリオ形式でお書きください。

ポートフォリオの形式は、自由。ただし、チェック項目だけは、明示ください。

○○のシミュレーター使用のマニュアル

書式自由

スキルスラボ 管理規則。

書式自由